

協力隊だより 7月号



令和7年度協力隊

金澤直道

(かなざわ・なおみち)

突然ですが…

みなさんはご存じですか？
もし、富士山が10歳だとしたら、御嶽山は何歳になるでしょうか？

(答えは、最後にお伝えします。)

絶対にとっておきたかった事

協力隊に着任してから、これまで二度、滝行をさせていただきました。また、里宮では地域おこし協力隊としての活動がつつがなく進むよう、ご祈禱をしていただきました。このふたつは、王滝村に移

住し、協力隊として活動させていただくにあたり、どうしてもやっておきたかったことです。



その理由は二つあります。一つは、霊峰としての御嶽の歴史や精神性を、知識として理解するだけでなく、自ら体験すること。

もう一つは、地域おこし協力隊としての活動に「個人的な欲」を持ち込まないこと。

私はこれまでに色々な経験をさせていただきましたが、それはあくまでも「自分のため」でした。

「お金持ち」になったり、大きな会社で役職を得たり、いわゆる「偉く」なって良い生活を目指す。そんな生き方をしてきました。そのために、がむしゃらに働いてきましたし、今では考えられないような、ブラックな働き方もしてきました。

ありがたいことに、それぞれの分野で一定の成果を出すことができ、起業して「社長」と呼ばれるようになりましたし、ある程度の経済的な成果

も得ることができました。そしてそれらの経験をもとに、稼ぎ方を教える先生のようなこともしてきました。

しかし、やがて気がつきました。

「儲かっても、全然、楽しくない…」

「役職が上がっても、全然、嬉しくない…」

「お金は必要なもの」だけど…

お金は生活するうえで必要なもの。その意味でお金はとても大切。それは間違いありません。けれども、お金や地位ばかりを追いかけても、人は幸せになれない——それを痛感しました。

そういったこともあり、私にはある時から、お金や地位とは関係のない「志し（こころざし）」を持つて考え、行動することにしました。

そんななかで、自給自足の暮らしや、薪ストーブのある自

然豊かな環境にあこがれ、移住をしたのですが、今はそれらを封印して、「王滝村のため、御嶽のために、何ができるか？」を考えて、日々行動するようにしています。

「我欲で動かない。」

それが今の私の軸です。昔の行者さんたちは、御嶽山に入る前に、100日間滝に打たれたと聞いています。

それはまさに、自分の中にある「我欲」を浄めるためだったのだらうと思います。

私もその姿勢に習い、今後も滝行を続けていきたいと考えています。

今後の活動について

そして今、地域おこし協力隊としての活動を始めたばかりのこの時期にこそ、「これからどのような活動をしていくのが、王滝村、そして御嶽山

のためになるのか」を、しっかりと見極めていきたいと考えています。

その一環として、御嶽山や王滝村に関係する様々な書籍を読み、村内の多くの方々のお話を聞かせていただきたいと考えています。

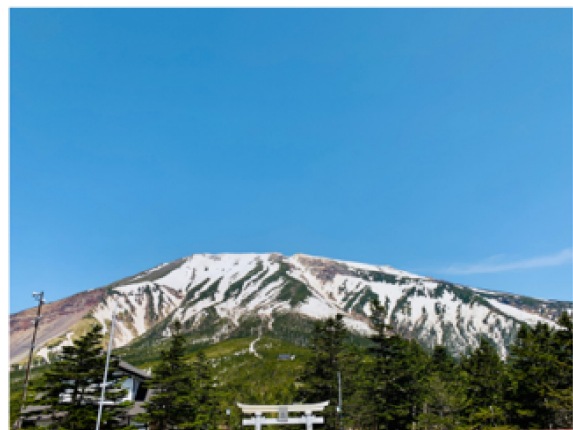
王滝村には多様な分野における『プロフェッショナルな方』が沢山いらっしゃいます。

お一人おひとりが持っている知識と経験の深さに毎回、感動し、感心し、そしてワクワクさせられています。また王滝村の『生きた歴史』を知る方々のお話も、とても参考になります。

そうやって学ばせていただくことで『王滝村がいかにかすごい場所なのか』ということに、日々、驚かされています。

その一つが、冒頭の問いです。もし富士山が10歳だとしたら、御嶽山は何歳でしょうか？

—— 答えは、なんと、78歳です。



私が調べたかぎりでは、同一火口における火山活動では日本最古。（まだ調査中ですが、もしかしたら世界最古かもしれません）そしてもちろん御嶽山には古さ以外にもまだまだ計り知れない歴史と価値があると感じています。

御嶽山と王滝村の「のびしろ」

でもちょっと残念なことに

その御嶽山や王滝村は、まだ十分に評価されていません。

たとえば、日本には3000メートル級の山が23座ありますが、なぜか御嶽山だけが、国立公園もしくは国定公園に指定されていませんでした。（現在、国定公園化へ動き出しているようです）

しかし、これは見方を変えれば、御嶽山と王滝村には「これから評価されるべき伸びしろがある」ということにもなります。

だからこそ、私はこの御嶽山、そして王滝村の価値をていねいに『棚卸し』していきたいと考えています。

そのために、これからみなさんのお話をたくさんお聞かせいただけたら嬉しいですね。

もしお声がけさせていただいた際には、どうぞよろしくお願いたします。



山椒味噌の焼きおにぎり



ひだみ粉を使ったパンの試作



カンゾウのパスタ



令和7年度協力隊
森岡直子
(もりおか・なおこ)

王滝村にきて2か月が過ぎようとしています。
来た時には冬山だった御嶽山が今は深緑となり、雨が落ちる季節に入ってまた山の色が変わっていくのを毎日楽しみにして過ごしています。

今は王滝村の植物調査や活用について調べたり、試作をしたり、王滝村の良いモノ探しに進んでいます。

先日は『王滝村食文化継承事業 第一弾 山菜採りイベント』に参加し、村の大先輩の方たちからいろんな山菜を教えていただきお話の中で昔のことなどを聞きどのように今に活かせるのか、いろいろと考えています。

また、まずは村のことを知ることが必要、ということで、村

の方への聞き取りを開始します。

私は郷土食や植物のことを中心に、王滝村の魅力をたくさん教えてもらうことで、大事にされてきた皆さんの暮らしを次の世代につなぐ懸け橋のような役割を担いたい、とお話を聞きながら感じています。

皆さんがこれまで暮らしてきた、御嶽山に一番近い王滝村には、本当にたくさんさんの『宝物』が眠っています。

そして、皆さんこそがその『宝物』なのだ、と再認識していただけるよう、もっともっと王滝村の良いところ、よいモノ探しを頑張ります。

5月に採取した野草・山菜↓



深掘り！

「見えない醗酵の世界を身体で実感するビオスチーム」

協力隊の活動で気になることを深掘りするコーナーです。初回となる今回は古川さゆり隊員が行っているビオスチームについて伴走支援業務の委託を受けている合同会社Rext滝越の近藤が尋ねてきました！

「ビオスチーム」との出会い

令和5年度から協力隊になった古川隊員は王滝村で多様なハーブや野草を活用する村の人たちに驚いたそう。そんな環境に関心を持ち、地域おこし協力隊の活動に活かせるいかと考え始めたそうです。野草や醗酵について沢山の知識と経験を持っているおばあちゃん達を前にして、自分は一体何が出来るだろう？と考えていたところ、知り合い経由で偶然ビオスチームを知ったそうです。調べてみたら

岐阜市にある「ミカヒ」という会社が講座を開催していました。

「ビオスチーム」とは？

「ビオスチーム」は日本で古くから暮らしに根付いてきた麴菌や野草を主に使います。昔日本で行われていた蒸気浴を参考にし、水の中で醗酵させた麴菌と野草をパウダー状にしたものを煮立たせて発生した蒸気を身体に当て、纏わ

せる事が目的となります。

「よもぎ蒸し」との違い

「よもぎ蒸し」は中国発祥で韓国に広がっていききました。よもぎの成分が子宮を収縮させる働きがあることから、その収縮で毒素を排出する「デトックス効果」が目的であるのに対し「ビオスチーム」は前述した通り菌を身体に纏わせる事が目的です。

体験者の声

この1年間で沢山の方が体験したそうで「化粧のりが良くなった」「髪がサラサラに」

「肌艶が良くなった」など美容の効果を実感する方もいれば、肩こりや膝の痛み、女性トラブルが解消したという参加者の声もあったそう。

またサウナよりも低い温度でゆっくりと温まる事で身体の

芯から温まり、普段あまり汗をかけない人でも汗を出し溜め込まない身体作りにもなるそうです。

最後に

麴菌や醗酵についてもっと深掘りしたい事が出てきたインタビューでした。

古川隊員は「体験者が気軽にお友達を連れて身体や心を休めたり、リフレッシュするサロンの様に利用してもらえれば嬉しい」とお話ししてくれました。

〈ビオスチームの仕組み〉



麴菌入り野草パウダーを鍋で煮立たせる。

【詳細】

- ・基本は平日（土日は要相談）
 - ・1回最大2時間（着替え含め）
 - ・午前9時から午後4時の間に開始
- ※夜にやりたい人は要相談

【連絡先】

メール：sayu.uno21@gmail.com
電話：（090）6179-4722

発行：王滝村役場

編集：協力隊伴走支援委託業者
合同会社Rext滝越